

太陽の丘循環バス運行見直し経過と利用実績

これまでの運行等見直しの経過

- ①国保病院の移転に伴い、市街地区と国保病院を結ぶ循環バスとして、平成12年4月より運行開始。
- ②平成22年度域公共交通活性化・再生総合事業による調査事業において、当循環バスの見直し試験運行を行う。
- ③平成24年度より、地域公共交通確保維持事業を活用。
- ④南回りルートに3か所の停留所を新設する。(H23.11)
- ⑤利用者の少ない南、北回りの最終便(第6便)を廃止し、近道便を新設、運行の効率化を図る。(H24.4~)
- ⑥全路線全便でフリー降車を実施し、利用性の向上を図る。(H24.4~)
- ⑦運行体系見直し、利用率向上を図るための利用者アンケートを実施(H24.8)。
- ⑧大幅な運行体系の見直し(H25.9~)
 - ⇒町内の内科医院への通院及び中心市街地へ円滑に移動し買い物等の利便性の確保、また南北間の移動を含め、まちの中心に人を集め活性化を図るねらい。
 - (1)南・北回り便全てを逆回りとする。
 - (2)南・北大回り便(各2便)を新設。
 - (3)直行便4便を1便に減便し、近道便1便を2便に増便。
 - (4)北回りルートの見直し(一部、南地区経由)
 - (5)2か所の停留所の増設。

町民からの主なご意見 (H25.9以降)

<運行時間帯に関すること>

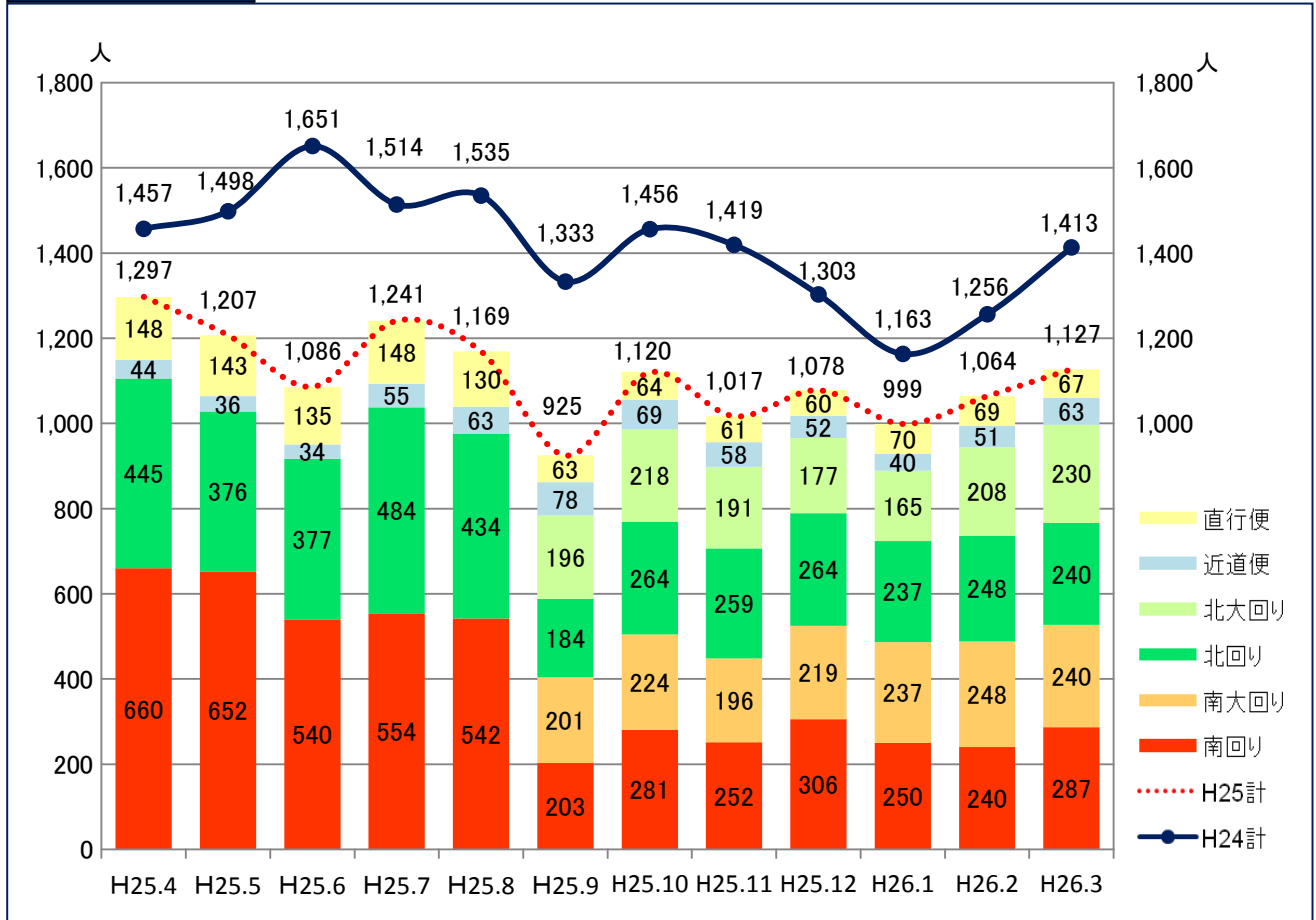
- バスの出発間隔が長い。早く帰りたい。
- 昼ころからのバスの利用が不便になった。
- 病院の帰りの買い物が不便になった。

<運行形態(回り方)に関すること>

- 今までの回り方に変えて欲しい。
- 病院に行くまでの回り方が逆なので不安。
- 大まわり便は、病院まで時間がかかる。

利用実績

平成24年度(H24.4~H25.3) 16,998人
平成25年度(H25.4~H26.3) 13,330人



⑨運行時間の見直し(ダイヤ改正)と直行便1便の増便(H26.4~)

<見直しの方針>

- ①国保病院の診療時間を考慮した中で、診療後のバス待ち時間の短縮を図る。
- ②診療後の帰りの時間に、道の駅等の市街地での利用の選択肢を広げ、次の便までの乗り継ぎ時間の短縮を図る。
- ③運行経路については見直しから4ヵ月が経過し定着しつつあることから路線変更はしない。